

長谷光城展

開催にあたって

長谷光城氏は、今まで現代美術作家として果敢な活動を展開され、第16回現代日本美術展で大賞を受賞されるなど常に新しい作品制作に挑戦されてきました。個展も36回におよびます。令和7年8月から開催された「熊川宿若狭芸術祭2025臨場VOL.3」を鑑賞した時にも、常に進化を求める長谷光城氏のいきざまと共生社会実現への堅実な取り組みに尽力される姿を目の当たりにしました。

一方、福井県で小・中・高校の教員として勤務し、要職を務められました。その中で、昭和46年に「小浜美育の会」を設立し、今まで子ども美術の研究に取り組まれてきました。平成16年から「子ども美術文化研究会」に参加された全国各園での研究実践に寄り添い指導いただいてきました。鹿児島各園の参加もここから始まりました。そのようなことから、記念すべき第1回「いのちかがやく子ども美術展 in Kagoshima」に併せて長谷光城個展を開催いたします。長い間待ち望んでいた、鹿児島4園での合同美術展に併せて開催いたします。長谷光城個展によって年齢にかかわらず人間としての表現行為の素晴らしい体感くださることを、心から願っています。

おののもりこども園長 中村英嗣

長谷光城略歴

昭和18年 旧満州牡丹江生まれ
昭和41年 多摩美術大学絵画科卒業 斎藤義重に師事
昭和43年 北美文化協会に参加～昭和52年
昭和50年 若美作家集団を結成～昭和60年
昭和52年 北米30周年記念展特別企画長谷光城展
第5回北美大賞受賞
昭和53年 第1回北九州絵画ビエンナーレ(北九州市立美術館)
北陽会賞受賞
昭和58年 第16回現代日本美術展(東京都美術館)大賞受賞
平成4年 福井の美術・VOL.3 長谷光城(福井県立美術館)
平成24年 アートキュメント2012「長谷光城の現在—はざま」展
(福井県:金津創作の森)
平成28年 瑞宝小綬章
令和3年 個展(東京・銀座 枝香庵フラット/企画 宮田徹也)
令和5年 熊川宿若狭芸術祭美術部門監修(～令和7年)
「臨場」Vol.1～3
「東極の磁場」展(～令和7年)
「まるまるつながるアートでんまる」展監修(～令和8年)

会場

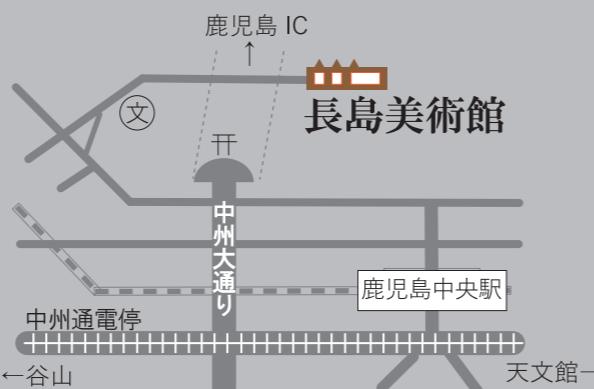
公益財団法人長島文化財団
長島美術館

〒890-0045 鹿児島県鹿児島市武3丁目42番18号
TEL: 099-250-5400

事務局

おののもりこども園長
中村英嗣

〒897-0213 鹿児島県南九州市川辺町小野1110-1
TEL: 0993-56-1935 E-mail: ononomori@gmail.com



まくらざき保育園

おののもりこども園



開催によせて

子どもも美術文化研究会（全国38カ園）に加盟する、べっぴ里山こども園、まくらざき保育園、平尾保育園、おののもりこども園の4園で、初めてとなる第1回「いのちかがやく子ども美術展 in Kagoshima」展を開催する運びとなりました。これまで各園それぞれに美術展を開催してきましたが、子ども主体の豊かな保育生活を保障し、社会に立ち向う生きる力の基礎・基本を育んできたことを、みなさまに伝えようと手を取り合いました。

本展覧会は、「多様な表現に出会うために～子どもの豊かな感性の育ちへ称賛と激励～」をテーマにしています。子どもが、泣いたり、笑ったり、怒ったりするなどの基礎的な感情表現、また何かに感動し、ものを創り出す、絵を描くなどの感情豊かな表現、それらすべてをアートと捉えることができるでしょう。その世界は、自由に意思を表現することで輝きを放ちます。成功と失敗を繰り返し、何度も挑戦を可能とする自然や自然素材との関わりは、子どもに備わった意欲を奮い立たせる唯一無二の環境です。自然を相手に夢中になって遊び込む子どもの姿と、保育者がそれらすべてを受け入れ励ます豊かな保育をこの展覧会に展示された作品群が語っています。子どもが生み出しきいきとしたアートをご鑑賞ください。

また、子ども美術文化研究会の講師でもあります、現代美術作家長谷光城氏の個展を同時開催します。日本現代美術展大賞受賞、そして子どもを取り巻く教育及び保育の改革、インクルーシブ社会への大きな発展に貢献を続ける、長谷光城氏が創り出す作品には、その時の社会の動きに対するメッセージや自らの命をさらけ出す感情が表現されています。この長島美術館で、子ども美術と現代美術の融合もお楽しみください。



湯元美月 (3歳11ヶ月)
べっぴ里山こども園



森楓枕 (4歳7ヶ月)
まくらざき保育園



市薙由優香 (6歳1ヶ月)
おののもりこども園

ギャラリートーク

日 時 12/6(土) 9:30 ~ 11:30
会 場 長島美術館
パネラー 長谷光城氏
*お問い合わせは、事務局までご連絡ください。

表現活動

豊かな遊び=生活体験から深い感動を得て、自信をもって描いています



べっぴ里山こども園



平尾保育園



まくらざき保育園



おののもりこども園



まくらざき保育園



平尾保育園



べっぴ里山こども園

感じる

子どもが心躍らせるとき 表現せずにはいられない

子どもが創り出すアートの世界は、いつもキラキラと輝いています。子どもは小さな原始人といわれるよう、水、砂、土、木、石、動植物などの自然素材を使った遊びの中で、感じる心が躍動します。ものと関わり、人と関わり合う中で得た充満感が、自信となって豊かな表現を生み出します。



おののもりこども園

仲間と



平尾保育園



まくらざき保育園



おののもりこども園

考えて、やってみる